

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
平山 篤志
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

ベトナム戦争の頃、ダナン・ラング(Da Nang Lung)といわれる病気が流行した。ダナンはベトナム中部の古都で当時大規模な米軍基地があり、負傷した兵隊を治療する後方病院も置かれていた。そこに搬入された負傷兵の中で、何の肺疾患もなく肺以外の負傷なのに突然肺が真っ白になり、急性呼吸不全が起こり数日で死亡する患者が続発した。今ではこれがARDSであり、その発症機序も分かっている。それから数十年が経過し、ベトナム戦争は風化しつつあるが、ARDSは今も難治性重症疾患の最たるものである。しかし、今月号の特集を読むと、少しずつではあるが、ARDSの治療も確実に進歩してきたことが分かる。びまん性汎細気管支炎や気管支喘息のように大きなブレイクスルーがあったわけではないが、主として人工呼吸法や肺保護療法などにより臨床成績は着実に良くなっている。さらに新しい機序の薬物、新しい治療法の開発も行われており、今後が期待される。その進歩には、動物実験や*in vitro*の実験に加えて、臨床研究が大きな貢献をしている。

以前ある大学の教授室を訪れたとき、壁の額に掛かっている「教員心得」を読んで感心したことがある。いくつかの注意事項的な文章に混じって、さりげなく書かれた「あらゆる病気には必ず原因がある。医師ならそれを見つける努力をすべきである。」というのがあった。含蓄の深い文である。表面だけ読むと、日常診療での鑑別診断、臨床検査、そして確定診断のことを言っているようにも思える。必ず論理的な思考に従って最も適切な診断を行い、論理的にも適切な治療を行うようにと。しかし、その教授や先代の教授の歩んでこられた道からは、それだけのものではないと思われる。やはり、これは「原因不明の未知の病気であっても、医師であれば出来る限りその原因を見つけるような努力をせよ」ということだと思う。我々の周りにはまだ原因の分からない病気が沢山ある。すべての医師に研究者になれと言っているわけではない。患者さんは日常診療の中で病気の様々な情報を提供してくれている。我々が見逃しているものも、理解できていないものも数多くあるだろう。それらを出来るだけ系統的にとらえ、整理し、論理的意義付けをし、推論をたて、証明し病気の原因をつきとめる。臨床と研究は決して異なるものではなく、アプローチは違っても考え方は同じものである。優秀な臨床医は、研究者の目で患者を診察し、情報を整理し、問題を抽出し、解決策を考えていく。臨床は非常に多くのヒントを私たちに与えてくれている。分からないのは、自分たちがそれに気が付かないか、その重要さが理解できないだけであると謙虚にならなければならない。

今月号の特集を読みながらそんなことを考えた。

(相澤久道)

呼吸と循環 (第58巻 第6号)

2010年6月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2010年、年ぎめ予約購読料 31,800 円)
(電子ジャーナル閲覧オプション付 41,400 円)
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY 〈(株)出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。